

# 光鯨会だより

第37号 [令和6年12月]

発行 | 光鯨会  
会長 | 小野 徹郎 (S43)  
本部長 | 井戸田 秀樹 (S58)  
連絡先 | 濱田 晋一 (DH22)

✉ koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp

HP | <http://koukokai.jp/home>

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内  
( )内の数字は卒業年次を示します。またM:修士、D:博士 での卒業になります。

## I | 会長挨拶

### □会長挨拶 「日本の向かうべき方向」

小野 徹郎 (S43) 光鯨会会長／名古屋工業大学名誉教授



紅葉も色濃くなってまいりました。季節の移り変わりの早さにはいつも驚かされますが、会員の皆様にはそれぞれのお立場でご活躍のことと思います。

今年 11 月に関東支部のご尽力で光鯨会全国大会を開催することができましたこと厚く御礼申し上げます。60 名近い会員の出席を得て賑やかに開催されました。若山先生をはじめ、中部支部、関西支部からもご出席いただき難うございました。また 10 月には関西支部の総会、懇親会には CE 会、緑会所属の工業会役員の方もご出席いただき開催されました。昭和 38 年卒の長谷川さん、鶴飼さんのお元氣なお姿も拝見でき嬉しく思いました。

今年は能登半島地震、日航機事故と波乱の幕明けになりましたが、一方で最近では被団協（日本原水爆被害者団体協議会）が今年のノーベル平和賞を受賞したことは色んな意味で嬉しいことでした。80 年間戦争で核兵器が使用されなかったことに繋がる 68 年間の地道で継続的な活動に頭が下がります。中国の「老子」の話を以前いたしました、その 31 章には「兵器は不吉な道具である」「それゆえ天下

を欲するものはこれに頼らない」「兵器を賛美してはならない」「賛美すれば殺人を楽しむものと同じである」とあります。今、ウクライナ戦争、パレスチナ紛争、スーダン内戦など、ここ平和な日本からは想像を絶する現実があります。それを受けて我が国でも軍事力の強化が叫ばれています。これには私はいつも違和感を覚えています。「新しい戦前」を私たちが作らないようにしたいものと改めて思っています。ここに我が国が世界に向かって果たすべき姿があると思います。

一つ名工大の嬉しいニュースをお届けいたします。今年名工大の世界最小の人型ロボットがギネスで認定されました。NHK でも取り上げられておりますのでネットでご覧いただきたいと思ひます。大学の現役学生も頑張っております。

本学建築学科は来年で 120 周年を迎えます。その歴史の中で多くの卒業生を輩出してきました。一人一人の卒業生の努力とその繋がりでの日本の建築界での確固たる立場を形作ってきました。伝統は個々のささやかな努力と継続の積み重ねの結果であると思ひます。最後にいつもながらのお願いですが、光鯨会の活動は皆様の会費で運営されています。是非、今後とも会費の納入をよろしくお願い致します。「母校が輝き」「卒業生が輝く」時代を支えることに光鯨会が深く関わり同窓の絆が深まることを願ってやみません。

## II | 恩師だより

水谷 章夫 (S51) 名古屋工業大学名誉教授



2016 年 3 月に定年退職しました。振り返りますと、岐阜工業高等専門学校での 3 年間の在職以外は、ずっと名古屋工業大学でした。入学当初は、二期校故の屈折した時期もありましたが、入学式の日から宮野秋彦先生に目を掛けていただき(お亡くなりになるまで終始ご指導を賜りました)、徐々に名工大が好きになり、今ではこの光鯨会が私の宝です。

退職間際は名工大ファミリーの誰彼となく、フランクに楽しくお話ができるようになり、恵まれた学究生活を過ごしていましたので、2 年延長もありましたが、今が華だと思つて、以後の生活は何も考えなく退職しました。その年の 3 月に、高校の同級生で、T 建設(株)の社長をしている T 君から、(社外) 監査役のお話があり、以後 7 年間務めました。今思うと、この社会との窓口が開いていたお陰で、年金生活へのソフト

ランディングが無事にできたものと、T 君に感謝しております。また退職の同じ時期に(一社)地域産業活性協会が設立され、その(非常勤) 代表理事として無報酬で責務のある役を務めることになりました。主な仕事は展示会開催に当たったの後援名義を貰うための挨拶、お願いです。

二十年ほど前、建築史実習で河田克博先生が、京都日赤病院に緊急入院し、容態が安定した後、病院側から転院を勧められ、名古屋でリハビリの定評のある病院を探してくれないかと電話で頼まれました。医療関係の人脈に強い人に相談したら、医療の質の高さと自宅にも近いという理由で、藤田保健衛生大学病院がお薦めと言ひ、その場で当時の学長に転院希望の電話をしていただき、承諾がすぐ得られました。入院中に新たに問題がある部位が見つかり、治療し、無事退院しました。退院後、「命の恩人」と言われるようになりました。河田先生と一緒に授業をしていた 1 年生の基礎製図を、今年行う機会に恵まれ、隣でこやかに立っている姿を感じながら、教壇に立っています。

### III | 卒業生は今

#### □本部

##### 井上 雄貴 (H14) 名工建設(株)

平成 14 年に卒業後、名工建設(株)に入社してから 22 年が経ちました。以来、施工管理の業務にて、共同住宅、駅、複合施設、工場など様々な工事を経験しました。勤務地については、名古屋だけではなく金沢、大阪でも経験しております。金沢での勤務時においては、休日に能登半島にも出かけておりましたが、その時に見た美しい自然や人々の暮らしが地震により大きく傷ついてしまったことに心を痛めております。一日も早い復興を祈っております。

駅での工事に関しては鉄道や旅客の安全を確保しながら昼夜継続で作業するため、気の休まらないことが多いですが、多くの人々が日常的に利用する施設の

建設に携わっていることを思うと感慨深いものがあります。

今後ともお客様や利用者に喜んでいただける建物を施工できるよう業務に取り組んでいきます。



尾張一宮駅前ビル

JR 桑名駅

#### □関東支部

##### 掃部 顕吾 (H12) 清水建設(株)

平成 14 年に修士課程を卒業後、清水建設(株)に入社して今年で 22 年目となります。入社後都内の現場に配属となり、その後、埼玉、栃木、茨城で現場の管理業務をしてきました。その後静岡の現場と名古屋支店内での勤務を経て、3 年前から東京支店の内勤技術スタッフとして現場の支援業務に携わっています。

所属は現場の施工図業務を支援する部署で、その中で BIM を活用した早期物決め活動をしています。BIM の活用については様々な取組がされてはいますが、現場においてはまだまだ懐疑的な声も多く、いつも受け入れられる状況ではありません。私自身の現場の経験をもとに現場側の目線で役に立つ取組を行うべく試行錯誤する毎日です。

話は変わりますが、昨年度から光鯨会関東支部の役員となり、微力ながら光鯨会の活動に携わる機会をいただき貴重な経験となりました。



『鉄骨 BIM 調整のモデルイメージ』

#### □関西支部

##### 北川 大祐 (H28) (株)鴻池組

鴻池組には 2018 年に入社し、大阪の設計部で構造設計に従事しておりましたが、2023 年より人事交流の一環で茨城県つくば市の技術研究所に配属され、現在は主に建設現場でのロボット活用に関する業務を担当しています。現在、建設業界では人手不足が深刻化しておりこの傾向は今後も続く予想されます。人手不足解消に向け業界全体でロボットの導入を推進していますが、ロボット施工の一般化にはまだ課題が多いです。鴻池組はロボット導入の第一弾として、2024 年 1 月に大阪万博の現場へ四足歩行ロボットを導入しました。また、ロボット開発の実証実験場として、2024 年 8 月に大阪南港にロボットパークをオープンしました。ロボット導入のためには障害を洗い出し解

消していく必要があります。大阪万博の現場では現場配属員がロボットを操縦していますが、さまざまな問題が生じています。今後は開発したロボットを現場配属員が無理なく普段使いできるレベルにしたいです。

最後になりますが、梅村先生のおかげでプログラミング能力が身に付き、ロボット制御ソフトの理解に役立てることができています。ご指導くださりありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



## IV | 大学は今

### □分野長挨拶

佐藤 篤司 (H10) 建築・デザイン分野長／名古屋工業大学教授

この時期は卒業論文の提出も近づくため、研究室に配属された学生は忙しそうに研究活動を続けています。ギリギリまでデータ収集(実験・解析)に追われて学生も沢山見かけます。私には大学生らしい姿だと思えるので、微笑んで見てしまいます。学部3年生は、より創造的な建築設計課題に取り組む時期となるため、学生の個性がより明確に現れているといえます。学部2年生は、建物の構成をしっかりと理解する課題が課されることが多く、CADに苦しめられながら? 図面を仕上げていく能力を身につける時期になっています。学部1年生は夏休みも経験して大学生活にも慣れた時期になると同時に、建築設計にも積極的に取り組む時期になっています。

座学で建築を学び知識を蓄積することが通常の教育ですが、ここ数年は原寸で空間を制作する課題を学部1年生には課しており、体感を通してものづくりと空間づくりに挑戦してもらっています。実際の構築物は、重力や風が作用するため、小さな模型レベルでは成立していたものが、野外で構築を始めると思いもよらない挙動をしたりすることで、

仮想空間(CAD)とのギャップ、模型とのギャップを体感し(写真1)、ものづくりの難しさと面白さを得ているようです。原寸で制作する場合は、「光」「風」「音」など様々な要因が体感できることも学生の興味に結びついているようです。制作の各フェーズで教員が専門的なアドバイスを提供することで、学生はより深い学修の機会になっているようです。

原寸制作教育は他大学でも実施されており、今年の名市大・同済大学(中国)との共同ワークショップを実施し、その教育的効果について情報共有をさせていただきました(写真2)。体感する教育の取り組みは今後積極的になるといえます。



写真1 原寸制作の展示 写真2 原寸制作のパネルディスカッション(左:Chen助教)

### □OB・OG交流会

磯和 孝史 (H15) 清水建設(株)

10月9日に光鯨会本部第19回OB・OG交流会が名古屋工業大学で開催されました。本交流会は学部生、大学院生を対象に、OB・OGから仕事の内容や職場の様子、就活のアドバイスを紹介し、今後の進路の参考にしてもらうことを目的に毎年開催されています。本年度から、就職活動が本格的に始まる前に開催してほしいという大学からの要望を踏まえ、秋に開催することになりました。

第1部は先輩からのガイダンスとして、6名のOB・OGの方に設計事務所、ゼネコン施工、ハウスメーカー、官公庁、インフラ関係の様々な立場から仕事内容や勤務状況について

紹介していただきました。

小田祐司さん(H21卒 安井建築設計事務所)  
川津早季さん(H29卒 鹿島建設)  
位田健太さん(H28卒 トヨタホーム)  
中野伊織さん(H30卒 愛知県庁)  
吉岡舞さん(H28卒 トヨタ自動車)

第2部は学生会館大食堂に移動し、昨年度と同様に懇親会を行いました。懇親会ではガイダンスで紹介頂いた方を囲みながら、各分野における一歩踏み込んだ会話が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。今後も継続して開催し、学生の皆様の手助けになることができればと思います。

### □秋の見学会報告

金子 直樹 (H14) 名古屋市役所

11月9日(土)に2024年度秋の見学会が実施されました。本年度も毎年恒例となっている名古屋工業会名古屋支部の見学研修会に参加する形で実施され、光鯨会からは20名(他会も含めた総勢68名)の方が参加されました。

今回は、午前中部国際空港のバックヤード見学、または食堂での昼食の後、午後はINAXライブミュージアムと澤田酒造の見学という行程でした。

中部国際空港では、制限エリア内に入り、空港の方の解説とともに、空港施設や飛行機の離着陸の様子を間近に見ることができました。また、INAXライブミュージアムでは、企画展で黒川紀章設計の中銀カプセルタワービルのカプセルユニットを見たり、澤田酒造では、酒蔵の見学と試飲、買

い物を楽しんだりすることができました。

天気にも恵まれ、楽しみながら多くを学ぶことができ、見学研修会にふさわしい良い旅になりました。



## V | 光鯨会は今

### □ 関東支部だより

吉井 正行 (S58) 関東支部長 / 清水建設(株)

光鯨会関東支部では、11月23日に関東支部総会・全国大会懇親会を開催しました。

全国大会は2019年関西開催以来で新型コロナの影響でなかなか開催できませんでしたがようやく行うことができました。総会に先立ちエクスカージョンを行い東京タワー、麻布台ヒルズ周辺の散策をしました。23名の方が参加しました。麻布台ヒルズではOBで外装の施工担当だった水野さんから裏話も含め丁寧な説明を受けました。参加した皆様には満足して頂けたと思います。

総会後の懇親会には52名の方が出席しました。そのうち3名は令和になってからの卒業生です。本部からは、小野会長、井戸田本部長にお越しいただきました。

総会では議案3件の承認を行い、井戸田本部長から大学の近況を報告して頂きました。

総会後の全国大会懇親会では小野会長の挨拶のあと、北川先生のオンラインによる能登半島地震、豪雨に対する寄付のお礼の挨拶があり、野呂先輩の発声による乾杯で懇親会がはじまりました。その場で放映した北川先生作成のインスタントハウスに関するビデオにも皆さん熱心に見入っていました。また、若山先生からは分離派建築会から始ま

る興味深いお話がありました。最後に令和卒の若者から自己紹介をしていただき、葛田副会長から会を締め上げて頂き無事閉会しました。

最後になりますが、全国大会実施に協力頂いた関東支部役員の皆様に感謝いたします。



麻布台ヒルズにて

〒104-8370 東京都中央区京橋二丁目16-1-14号  
清水建設(株) (090-2724-0319)  
関東支部長 吉井正行 (S58)、事務局 掃部頭吾 (H12)  
副支部長 鈴木孝彦 (S59)、宇佐美徹 (H3)

### □ 関西支部だより

神澤 宏明 (S58) 関西支部長 / (株)鴻池組

光鯨会関西支部の令和6年後半の活動内容について、報告いたします。

8月2日の幹事会とミニ講演会では、支部総会について詳細な議論を行い、(株)構造地盤研究所の鶴飼先輩(S38)より、「令和6年能登半島地震で思うこと」と題した演題で、能登半島地震の詳細と被害状況から、巨大地震への対応についての提言まで、示唆に富んだお話をいただきました。

10月19日の支部総会では、JR大阪駅の北側、通称「うめきた」に先行まち開きをしたばかりのグラングリーン大阪において、見学会、総会、懇親会を行いました。見学会では、日本初上陸となるヒルトンのライフスタイルブランド「キャノピー by ヒルトン大阪梅田」に集合し、ホテル内を視察したのちにうめきた公園を散策しました。ホテルのコンセプトは、親しみやすい地域に密着したホテルで、客室に置かれた福助人形にほっこりするなど、見どころの多い見学会になりました。その後、うめきた内のレストランに移動し支部総会と懇親会を執行了しました。総会は、工業会からの来賓も含め40名あまりの皆様にご出席いただきました。光鯨会小野会長(S43)と工業会大阪支部堀口支部長(C59)から、開会に

あたってのご挨拶を賜り、小野会長からは母校の近況についてもお話を伺いました。その後、議案の審議に移り、各議案とも、承認をいただきました。その後の懇親会では、おいしい料理に舌鼓を打ちつつ、和やかなうちに会を収めることができました。

最後になりましたが、会の企画運営に奔走していただきました支部役員の皆様、お疲れさまでした。



〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42  
大手前大学 建築&芸術学部 (0798-34-6331)  
関西支部長 神澤宏明 (S58)、副支部長 竹内健一 (H3)  
事務局長 寺田憲二 (H25)、連絡担当者 山崎航一 (H25)

# 光鯨会だより

第37号 [令和6年12月] 特集版

発行 | 光鯨会  
会長 | 小野 徹郎 (S43)  
本部長 | 井戸田 秀樹 (S58)  
連絡先 | 濱田 晋一 (DH22)

HP | <http://koukokai.jp/home>

✉ [koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp](mailto:koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp)

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内

## □鯨ボックス寄付者 2024/6/21～2024/11/30にお手配くださった方を記載（敬称略）

[S28]西山 頌(2)、[S32]清谷 太一(1)、[S33]春田 直明(1)、[S35]坂本 修造(6)、[S38]鶴岡 邦夫(2)、長谷川 孝(2)、[S39]三井 富雄(1)、村瀬 正晴(1)、渡邊 実(2)、[S40]柿沼 敬喜(1)、水野 耕嗣(20)、三好 修(2)、堤 眞司(3000円)、[S41]高橋 信男(1)、早川 眞(1)、[S43]小野 徹郎(2)、薬師寺 宣安(2)、[S44]原 弘久(1)、山根 勝彌(1)、渡邊 好之(2)、[S45]永田 敬雄(2)、早川 良貴(1)、[S46]森 英範(10)、[S48]立木 亨(1)、[S49]村上 貞明(3000円)、玉置 博計(2)、満田 高久(1)、[S50]井上 修一(1)、岡本 光生(2)、須原 享志(1)、吉村 尚(1)、[S51]佐藤 昌紀(1)、[S52]三宅 宏(6)、武仲 裕司(2)、葛田 守弘(1)、[S53]早矢 仕昭(2)、[S54]中村 浩巳(2)、濱村 一雄(3)、[S55]岡本 哲美(1)、工藤 高宏(1)、水谷 公子(1)、[S56]伊藤 辰也(1)、小林 秀美(1)、高嶋 繁男(2)、中西 正明(1)、[S57]高木 晃二(2)、[S56]裏橋 信夫(2)、中澤 敏樹(1)、中 蘭 昭彦(2)、新美 康夫(1)、廣瀬 善香(1)、山下 明男(1)、[S59]鹿島 孝(2)、鈴木 孝彦(1)、山下 司(2)、[S60]土井 邦夫(1)、[S62]加藤 茂裕(1)、[H2]岡田 博文(1)、森和 久(2000円)、[H3]谷口 智則(1)、[H4]石原 清孝(1)、釜田 学(1)、吉田 文久(1)、[H6]瀬藤 慎一(2)、[H7]羽生 田善将(1)、[H8]鈴木 晶博(2)、土方 和己(1)、[H9]加古 康也(1)、[H10]後藤 大輔(1)、花井 伸明(2)、[H11]上里 智之(1)、神野 貴之(1)、[H12]岡田 貴行(1)、藤井 理史(1)、[H13]魚住 将之(1)、[H21]吉田 和也(1)、[H24]三井 和也(1)、[H25]戸谷 奈貴(1)、[MS46]上林 研二(2)、[MS49]小倉 正憲(4)、[DH22]濱田 晋一(6)、[TOK]浅井 裕雄(1)

※ご寄付いただいた額の口数をお名前の後ろに記載しております。なお、5000円未満を1口とさせていただきます。  
※鯨ボックスへの寄付は随時受け付けております。ご寄付くださる際、ぜひメッセージを添えてください。適宜、本紙にてご紹介いたします。

## □年会費納入者（一般・自動振込・終身） 2024/6/21～2024/11/30にお手配くださった方を記載（敬称略）

一般：[S45]北山 和明、菅野 淳博、田中 孝典、永田 敬雄、早川 良貴、山本 栄治、吉田 則雄、[S46]乾 康雄、江畑 弘、小林 哲郎、呉屋 守将、近藤 豊太郎、齋藤 彰良、竹川 忍、寺田 仁、野上 邦宏、野呂 一幸、福井 一博、元谷 瑛、[S47]石田 進、漆畑 伸、大村 健一、春日 晴紀、川嶋 陽介、河村 孝一、佐伯 克彦、酒井 澄、島田 啓三、難波 剛、野田 雅司、宮口 恒樹、[S48]高村 利昭、立木 亨、眞鍋 勝彦、宮林 良夫、柳川 進一、渡邊 拓人、[S49]石田 壽、村上 貞明、玉置 博計、南源 司、[S50]岡本 敏嗣、須原 享志、高橋 和生、竹内 一博、萩田 雅也、山田 一信、[S51]青山 秀夫、河合 克美、齋藤 文伸、佐藤 昌紀、武内 幸治、武田 雄二、千葉 茂樹、西本 謙一、三村 俊雄、[S52]岩井 衛、三宅 宏、熊野 俊昭、小岩 豊、末永 俊彦、武仲 裕司、樽見 大、葛田 守弘、渡久 山盛清、福井 雅彦、真井 邦晃、湊口 民弥、[S53]阿津地 武宏、伊藤 雅春、木村 正彦、重良 正史、[S54]岩波 正、小池 博之、里川 幸夫、高橋 茂治、谷 宣広、豊島 直人、中西 達彦、濱村 一雄、麓 和善、[S55]逸見 徳治、勘代 敬子、工藤 高宏、久保 光範、小島 功、杉澤 和男、鈴木 雅宏、田窪 大作、谷口 裕、中川 晶夫、水谷 公子、水谷 信雄、[S56]伊藤 辰也、大竹 康久、上梅澤 保博、桑原 史明、雑賀 俊宏、瀬沼 則彦、伏見 光雅、[S57]磯貝 勇壽、内田 光一、北本 義郎、剣持 嘉則、小花 保夫、坂口 敏雄、服部 豊、[S58]岩田 康徳、宇都宮 直樹、神澤 宏明、酒井 正樹、中澤 敏樹、新美 康夫、野田 勝久、廣瀬 善香、宮浦 克仁、山下 明男、吉井 正行、[S59]片岡 一則、唐澤 邦夫、河原 弘明、酒井 賢、鈴木 孝彦、田口 亮一、丹羽 一人、林 裕二、吉本 辰哉、[S60]市川 健二、大場 光晴、杉坂 正、住哲也、土井 邦夫、豊嶋 卓也、森 惠美、山川 博幹、[S61]上村 肇、近藤 伸一、佐藤 文雄、佐藤 正幸、田中 浩、[S62]稲餅 正幸、今井 奈穂美、太田 原克則、加藤 茂裕、川井 裕基、黒崎 仁資、黒崎 英子、小坂 喬峰、中村 勝彦、長谷川 久巳、原 寿成、[S63]石井 俊作、大西 稔、田中 薫、羽入 田茂、深見 忠明、[H1]生本 孝幸、石垣 秀圭、糟谷 裕一、高野 雅文、武田 基、寺本 光治、名知 博司、松永 茂巳、[H2]稲葉 一秀、大上 純一、大木 仁、岡田 博文、佐橋 政人、杉浦 馨、高岡 秀明、田中国彦、田中 康彦、寺西 敦敏、沼田 岳彦、森和 久、横尾 慎一、渡邊 諭、[H3]飯田 邦博、井上 寿、護摩 堂淳、坂神 光則、竹内 健一、谷口 智則、二村 定治、池沼 靖子、安田 哲也、山田 知樹、渡邊 孝一、[H4]石原 清孝、岩田 佳子、釜田 学、吉田 文久、和田 真、[H5]大久保 俊克、冨田 剛史、豊田 康明、夏目 欣昇、羽生 田剛成、藤井 久生、牧野 健、山崎 純一郎、六嶋 敬子、[H6]安藤 健、池田 孝洋、宇佐美 智伯、柴田 昌俊、田中 瑞己、西村 幸洋、牧野 利華、[H7]奥山 照美、是澤 紀子、田口 博晃、長江 健治、羽生 田善将、本並 洋二、鷲津 愛、鷲津 篤夫、[H8]伊藤 芳男、伊藤 嘉規、井上 敬介、木下 淳、中村 雅之、土方 和己、[H9]青木 哲、加古 康也、高橋 誠二、竹内 靖子、馬淵 誠、[H10]木村 文子、巢元 剛、辻 敦、横井 智雄、渡邊 恒久、[H11]上里 智之、勝本 隆洋、小島 邦裕、神野 貴之、中川 康弘、林 幸司、[H12]大島 稔、大橋 一仁、岡田 貴行、掃部 顕吾、藤井 理史、森 洋一、[H13]勝木 直子、伊藤 浩資、魚住 将之、伊藤 文乃、[H14]鈴木 夕季、井上 雄貴、金子 直樹、上坂 一讓、笹崎 紀子、[H15]野本 篤史、山本 浩司、[H16]山田 梨佳、高橋 英明、長江 有祐、山田 厚治、[H17]清水 玲子、[H18]多田 慧、箕田 知之、[H19]今村 こゆき、初山 恵莉、加藤 智那、松本 浩明、[H20]今西 拓慎、大谷 友香、岩波 史恵、平井 佐代子、[H21]吉田 和也、[H22]木全 瑛二、水野 真宏、[H23]川口 峻、小林 優子、熊谷 真伍、[H24]荒金 賛太、伊藤 公人、川瀬 喬久、松村 侑大、三井 和也、[H25]石原 昌紀、伊藤 大輝、大岩 良平、戸谷 奈貴、森 誠司、[H26]大矢 知良、藏野 洋美、山崎 香菜絵、[H27]帯名 海晟、加藤 正都、玉木 智大、中澤 真平、鳴海 晃司、平野 雅士、[H28]市井 暁、高橋 紘恵、小川 隼平、佐脇 祥郎、山田 風人、吉本 隼、北川 大祐、[H30]鈴木 陽介、[H31]加東 豪、佐藤 拓海、森 瞭太、[R3]小野 和也、園部 裕子、[R4]佐橋 柚香、古市 奈々、森 旦陽、[R5]神野 帆乃香、[R6]渡邊 香帆、[MS43]日比 龍美、[MS46]岸 好治、[MS56]服部 光夫、[MH10]服部 径子、[MH18]安田 知永、[H19]米澤 隆、[MH27]藤川 大輝、[MH18]杉山 祐一郎、[DH12]高木 清江、[DH22]濱田 晋一

自動振込：[S45]荒金 謙一、坂田 孝之、[S46]岡崎 格郎、久野 道夫、三浦 茂、[S47]片山 憲一、[S48]河崎 恭広、勢力 常史、関戸 博高、西村 雅史、平野 悟、森 雅幸、[S49]市川 達夫、遠藤 茂樹、満田 高久、[S50]岡本 光生、八神 博史、吉村 尚、[S51]掛布 勇、酒井 直己、玉水 新吾、西井 信幸、布目 彰夫、[S52]浅野 泰樹、市之瀬 敏勝、[S53]杉戸 厚吉、早矢 仕昭、藤澤 繁男、[S54]井上 康造、谷垣 正彰、山崎 健一、[S55]朝倉 祥行、三宅 辰哉、[S56]池村 和久、小林 秀美、佐久間 昭男、高嶋 繁男、長谷部 斎、藤本 信介、[S57]大塚 善史、杉本 靖夫、高木 晃二、竹内 義高、中川 進一郎、花井 勉、福田 満、水谷 剛、[S58]井戸田 秀樹、宇崎 功二郎、裏橋 信夫、小倉 俊彦、近藤 修、鈴木 勉、水谷 且哉、吉田 賢吾、[S59]市之瀬 和明、小川 浩信、兄玉 博、小川 明、田中 義成、西村 吉史、宮地 陽司、山下 司、[S60]柘植 誠、羽津 本好弘、松田 浩司、[S61]辻 博久、[S62]近藤 浩史、高野 貢一、富田 彰次、[S63]石田 交広、岡田 秀明、[H1]加藤 伯彦、渡邊 明宏、[H2]清原 猛嗣、恒川 真一、長尾 茂樹、長谷川 利樹、[H3]宇佐美 徹、寺田 憲二、宮島 孝之、[H4]佐藤 裕一、[H5]下野 耕一、鶴田 幸恵、永田 誠、[H6]浅野 健、橋本 幸治、[H7]上之郷 貴重、[H8]河登 健太郎、北川 啓介、鈴木 晶博、中村 祥保、[H9]浅野 正裕、田中 俊洋、[H10]北川 珠美、金 晃、佐藤 篤司、成田 憲人、花井 伸明、濱口 順司、[H11]小川 裕介、[H12]澤井 清輔、[H13]水谷 安孝、山崎 賢二、渡部 友幸、[H14]奥田 崇、田中 弘臣、日比野 陽、[H15]安藤 悟、井川 崇史、上原 大輔、[H16]石川 雄一、[H17]佐藤 和哉、澤 秀俊、[H20]二井 建、[H21]金子 慶太、[H23]青山 昇洋、伊藤 嘉基、嶋 亜由美、彦 彦三、[H24]桑山 もも、水野 翔太、山川 陽平、[H25]岡本 光平、春日 功助、小林 亮太、中村 公哉、橋本 慧、小笠原 裕光、[H26]佐々木 裕佑矢、新海 智之、平 翔、[H27]杉岡 敬幸、守谷 直人、[H28]青山 雅弘、河合 大志、後藤 良介、高井 峻、[H29]早川 健一、吉田 成克、[H30]鈴木 泰嗣、[H31]井上 裕太、柴垣 有希穂、中石 湧也、[R2]大石 龍之介、田上 功也、津田 怜治、林 拓朗、[R3]北川 佑亮、藤川 真、[R4]鈴木 恵人、[MH4]張 奕文、[MH11]富山 正士、[MH16]下山 悠、[MH21]小島 恵子、[DH23]高橋 小、[DR3]水野 貴子

終身：[S48]川端 寛文、[S56]大島 弘資、平野 富之、[S57]徳野 亨、[S61]工藤 利昭、[H4]甲村 健一

※光鯨会は皆様の会費によって成り立っています。同級生の皆さまにも会費納入のお声掛けください。  
※光鯨会だよりでは会員からの投稿を募集しております。お知らせや近況等、本会本部事務局までお知らせください。

